

## 音楽か、英語か どちらもできる仕事を見つけよう！



詩織

大阪府立夕陽丘高校\*

わたしにとって、音楽と英語はどちらも、とても大切です。ピアノは4歳のときからずっと習っています。小学校4年生のときに、友だちといっしょに英会話学校に行くようになりました。英会話学校では、主に会話の練習をするのですが、それがとても楽しかったです。英語は、そのときからずっと勉強しています。『OC』のような、アメリカやオーストラリアなどの学生生活のドラマにも、たくさん影響を受けました。校則がなかったり、車で学校に行ったりと、自由な雰囲気にとってもあこがれます。そういうドラマに出ている人たちにとって英語は自分たちの言葉なので、英語を話すのは普通のことです。でも、自然に英語を話す様子がとてもかっこいいと思いました。こういうドラマを見ると、「わたしもこのドラマの世界に入りたい」と思います。

### 高校選択：音楽か、英語か

中学1年生になって、学校で英語を勉強するようになりました。でも、そのときの英語の授業はただ教科書を勉強するだけで、とてもつまらなく感じました。そして、学校の英語の授業がとても嫌いになってしまいました。わたしが英語の授業をまた好きになれたのは、2年生のときの英語の先生のおかげです。その先生は、教科書だけでなく、自分で作ったプリントを使いながら教えてくれました。また、実際に使える日常会話の表現なども教えてくれました。英語とスペイン語をとっても上手に話す先生で、わたしも、先生のように英語を話せるようになりたいと思いました。この英語の先生に出会って、英語の勉強が本当に好きになりました。

中学に入って部活動<sup>※</sup>を始めました。部活動とピアノを両方続けられるように、ほかの部より休みが多い水泳部を選えらびました。中学1年生のときには、ピアノと水泳部の活動をなんとか両立させていました。でも、放課後に英会話学校や塾にも通っていたので、毎日が本当に忙しかったです。そして、2年生になったばかりの春、とうとう限界がきました。水泳は夏に大会があるので、春から夏までの練習がいちばん大事です。でも、ピアノも夏にコンクールと発表会があります。このままでは両方とも中途半端になるし、体力的にもとてもきついと思いました。わたしにとって水泳は趣味ですが、音楽と英語はこ

れからもずっと続けていきたい、自分にとってとても大切なものだと考えました。それで、自分で納得して、水泳部をやめました。

それから、英語を中心に勉強できる高校に進むか、それとも夕陽丘高校に進んで音楽を専攻するか、真剣に悩むようになりました。3年生になって、高校の入学試験の願書を出すときがきても、まだ決めることができませんでした。そのときの担任の先生は、生徒と一人ひとりのことを愛情をもって考えてくれる人でした。わたしの進路についても、熱心に相談にのってくれました。あるとき、先生がわたしにこう言いました。「英語の勉強は、あとでやりたいと思ってもやれる。先生がもし詩織ちゃんだったら、夕陽丘高校を受けてみる」。たしかに、ピアノは一度やめてしまったら、あとでまたやりたいと思っても、もう取りもどせないと思いました。そこで、高校では音楽を専攻して、英語は自分で勉強しようと決めました。

## 音楽を専攻して



学校のピアノのレッスン。週に1回、個人レッスンがある。

© Yoshizato Hiroko

夕陽丘高校の音楽科では、専攻のピアノや副専攻の声楽のほか、音楽理論や音楽史など、音楽についていろいろなことを専門的に勉強します。演奏会の機会もたくさんあるし、ウィーンでの音楽研修プログラムなどもあります。ピアノなどのレッスンでは、曲の細かいところまで深く理解して表現することが求められます。例えば、ペダルの踏み方では、自分が表現したいことによって、ペダルの調節のしかたがいろいろあるということを学びました。先生にはいつも、「あなたはどういうことを表現したいと思って演奏しているか」と聞かれます。高校に入る前もピアノは一生懸命やっていたつもりです。でも、今思うと、前は何も考えないで演奏していたのかもしれない。高校で音楽を専攻して、「音楽ってこんなに深いものなんだ」と知りました。今は、音楽はおもしろい、もっと勉強したいと思っています。

## 音楽も英語も生かせる仕事がしたい！

---

高校を選ぶときには、音楽をとるか英語をとるかとても迷いました。でも、夕陽丘高校に入って、結果的には音楽も英語もますます好きになることができました。将来は、わたしにとって大切な音楽と大好きな英語、そして教えることをいっしょにできる仕事がしたいと思います。教える仕事に興味をもったのは、中学2年ときの英語の先生と中学3年ときの担任の先生の影響が大きいと思います。この2人の先生に出会って、自分の人生は大きく変わりました。わたしも、生徒にいい影響を与えられるような先生になりたいです。自分の将来のために、高校を卒業したら教育大学に進みたいと考えています。

---

\* 本人の希望により、保護者の方と学校の許可を得て学校名を記載しました。

\*1 日本の多くの中高校では放課後に課外活動として自由参加の部活動を行っている。スポーツ系、文化系、科学系などのさまざまな部がある。部ごとに練習・活動する曜日が決まっており、放課後は2、3時間くらい練習する場合が多い。